



〒892-0841
鹿児島市照国町13-42
カトリック鹿児島教区
電話099 (226) 5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行 教区広報部
1部60円年間千共1100円



司教の手紙

心の中のウイルスに
気をつけよう

— 四旬節メッセージ —

鹿児島教区司教 中野 裕 明

教区の皆さま、お元気で
しょうか。
今年の四旬節も新型コロナ
ウイルス禍の中で過ごす
ことになりそうです。そこ
で今回はイエスの教えとウ
イルスについてお話ししま
す。

「ウイルス」という言葉
が、マスコミで多用される
まで、私にとって、それは
コンピューターウイルスの
事でした。それが3年前か
らウイルスとは病原体の事
であり、しかも、エビデミ
ック（地域限定型）ではな
く、パンデミック（全世界
に及ぶ）と判明しました。

これは1980年代の初め
にWHO（世界保健機構）
が天然痘の征服を宣言して
以来のことだったので、先
進国では安心して暮らせる
ものと思っていました。

ところで、「コンピュ
ターウイルス」と「病原体



「ユダヤ人は皆、昔の人
の言い伝えを固く守って、
念入りに手を洗ってからだ
ないと食事をせず、また、
市場から帰ったときには、
身を清めてからでないと食
事をしない。そのほか、
杯、鉢、銅の器や寝台を洗

うことなど、昔から受け継
いで固く守っていることが
たくさんある」。（マルコ
7章34節）
これに対して、イエス
は、「外から人の体に入る
もので人を汚すことができ
るものは何もなく、人の中
から出て来るものが、人を
汚すのである」（同上15
節）と答えています。

そこで、私たち信仰者
は、イエスの教えに耳を傾
けながら、どのようにして
この難局を乗り越えて行っ
たらいいのかを分かち合い
たいと思います。

「人から出て来るものこ
そ、人を汚す。中から、つ
まり、人間の心から、悪い
思いが出て来るからであ
る。みだらな行い、盗み、
殺意、姦淫、貪欲、悪意、
詐欺、好色、ねたみ、悪
口、傲慢、無分別など、こ
れらの悪はみな中から出
て、人を汚すのである」
と。（同上21～23節）

「ユダヤ人は皆、昔の人
の言い伝えを固く守って、
念入りに手を洗ってからだ
ないと食事をせず、また、
市場から帰ったときには、
身を清めてからでないと食
事をしない。そのほか、
杯、鉢、銅の器や寝台を洗

「人から出て来るものこ
そ、人を汚す。中から、つ
まり、人間の心から、悪い
思いが出て来るからであ
る。みだらな行い、盗み、
殺意、姦淫、貪欲、悪意、
詐欺、好色、ねたみ、悪
口、傲慢、無分別など、こ
れらの悪はみな中から出
て、人を汚すのである」
と。（同上21～23節）

あるのでは、との異議申し
立てであると言えます。そ
して、イエスはこのような
時の宗教指導者への異議申
し立てによって、自分の立
場が危うくなり、ついには
十字架上の死を招くこと
になります。

ところで、この度のコロ
ナ禍で教皇フランシスコは
「無関心というウイルス」
を克服しよう、と呼びかけ
ています。

聖マザーテレサによる
と、「愛の反対の概念は、
憎しみではなく、無関心で
ある」と言っています。技
術文明が進行し、その恩恵
に浴している富裕層とそれ
から除外されている貧困層
のとの経済格差があまりに
もありすぎる点をお二人と
も指摘なさっています。富
裕層の人たちが、無関心と
いうウイルスを克服し、貧
困層に手を差し伸べてほし

い、そういう思いがあふれ
ている指摘でありますし、
教会もその方向で進んでい
くべきです。
ただ、その方向へ進むた
めには、私たち信者の一人
ひとりの基本的な回心が求
められると思います。

聖パウロは信者に対し
て、霊の道に従って歩むよ
うに勧めています。それは
「無関心というウイルス」
を克服しよう、と呼びかけ
ています。

「霊の導きに従って歩み
なさい。そうすれば、決し
て、肉の欲望を満足させる
ようなどころは、ありません。
肉の望むところは、霊に反
し、霊の望むところは、肉
に反するからです。肉と霊
が対立し合っているのです。
あなたがたは、自分のした
いと思うことができないの
です。しかし、霊に導かれ
ているなら、あなたがたは
、律法の下にはいません。
」（ガラテヤの信徒
への手紙5章16～18節）
続いて、肉のわざと、霊
のわざを次のように列挙し
ています。
肉のわざは、「姦淫、わ
いせつ、好色、偶像礼拝、

ミサの変更箇所について学習
充実した今年の司祭大会

今年の待降節第1主日か
ら開始される「ローマ・ミ
サ典礼書」ラテン語規範版
第3版に基づくミサの実施
に向け、教区で働く司祭た
ちが研修した。

これは毎年1月に開かれ
る司祭大会のこと。例年
ならば4日間ほど開かれる
司祭大会だが、今年はコロ
ナウイルス蔓延防止のため
に原則オンラインでの出席
とし研修を1日、司祭集会

を1日の計2日間（1月18
日と19日）で開催された。
改定される「ローマ・ミ
サ典礼書」について解説し
てくれたのは、カトリック
中央協議会の宮越俊光さん。
宮越さんは、日本カトリッ
ク典礼委員会による「新し
い「ミサの式次第と第1
第4奉献文」の変更箇所」
をテキストに、新しい式次
第の全体について、オンラ
インを使つた5回にわたる
講話で解説した。

今年最初の定例司祭集会
（コンベンツス）は、司祭
大会最終日の1月19日
（水）教区本部で開催され
た。会ではまず中野司教が
主日のミサ意向についてそ
の重要性を説き、個別の意
向によるミサは週日に立て
ることを求めた。

その他会議では、霧島神
父から「聖体とミサに関す
るカテケジスの計画案」
が提案されたほか、教区に
おける終身助祭制度の振り
返り、来年度の行事計画案
等の報告と検討がなされ
た。

教区司祭人事

▼栃尾泰英神父
坂本進神父の静養・引退
に伴い、不在となっていた
教誨師の任に栃尾泰英神父
（吉野教会）が就くこと
になり、2月3日（木）任命
書が渡された。

カトリック教師の会開催



2月13日（日）午後3時から教区本部
で、オンライン参加者を含めて8人で開催
された。参加者による簡単な自己紹介の
後、末吉神父が司祭として教壇に立つこ
とを通しての気づきや体験談について講話
し、参加者同士で分かち合いを行った。
次回は4月10日（日）午後3時から5
時、教区本部で「四旬節黙想会」として開
催の予定（オンライン参加も可能）。問合
は kago.cath.kyoushi@gmail.com（担当＝霧
島神父）まで。（文責＝霧島）



教区会計収支計算書 2020年4月1日～2021年3月31日

経常収入

科 目	2020年度予算額	2020年度決算額	備 考
①献金収入	¥19,900,000	¥23,378,322	
教区費	14,400,000	14,995,110	教区司祭地区30%、修道会司祭地区20%
ミサ献金	4,600,000	4,502,407	教区司祭地区30%、修道会司祭地区20%
カリタス鹿児島	900,000	2,688,005	
教区財政支援	0	1,192,800	
②補助金収入	¥5,212,000	¥7,119,257	
聖座補助金	0	2,049,170	
教区司祭医療積立	72,000	72,000	
教区司祭年金	5,140,000	4,998,087	
③寄付金	¥10,160,000	¥12,054,817	
司祭寄付金	8,960,000	10,269,817	小川神父、泉神父、寝占神父、末吉神父
一般寄付金	1,000,000	1,785,000	
特別寄付金	200,000	0	
④祭儀収入	¥1,500,000	¥1,080,900	冠婚葬祭、祝福
⑤法定献金	¥3,700,000	¥3,368,511	
⑥広報分担金	¥1,600,000	¥1,693,020	
⑦その他	¥2,829,776	¥3,283,653	前期末未収入金、受取利息、雑収入など
経常収入合計	¥44,901,776	¥51,978,480	

財務収入

科 目	2020年度予算額	2020年度決算額	備 考
①固定資産売却収入	0	¥0	
不動産売却	0	0	
②特定預金取崩収入	¥2,400,000	¥1,607,655	
教区司祭年金取崩	1,200,000	1,607,655	田原神父、成相神父
その他	1,200,000	0	
③その他収入	¥12,200,000	¥12,126,500	
預り金受入	8,500,000	7,626,500	社会保険、雇用保険、所得税、住民税、他
貸付金回収	3,500,000	4,500,000	名瀬聖心教会聖堂 川内教会 枕崎教会
仮払金・立替金	200,000	0	仮払金清算による戻り（仮払金支出に対応）
財務収入合計	¥14,600,000	¥13,734,155	
収入合計	¥59,501,776	¥65,712,635	
前年度繰越金	¥66,046,081	¥66,046,081	
合 計	¥125,547,857	¥131,758,716	

神学生養成費収支計算書 2020年4月1日～2021年3月31日

神学生収入

科 目	2020年度予算額	2020年度決算額	備 考
①神学生養成費	¥10,000,000	¥10,242,500	
②前期末未収入金	¥126,000	¥126,000	
③期末未収入金	¥-100,000	¥-389,300	
④寄付金	¥0	¥0	
⑤前年度繰越金	¥10,469,009	¥10,469,009	
収入合計	¥20,495,009	¥20,448,209	

神学生支出

科 目	2020年度予算額	2020年度決算額	備 考
①神学校運営分担金	¥5,420,000	¥3,927,500	
福岡カトリック大神学院	4,500,000	3,140,000	運営分担金
聖カルロス大神	300,000	168,300	久山神学生授業料
福岡コレジオ	620,000	619,200	運営・基本分担金
②旅費研修費	¥500,000	¥0	
③生活補助費	¥840,000	¥858,400	2万円×12ヶ月
⑤雑 費	¥35,000	¥33,924	外貨送金・振込手数料
⑥修道会援助金	¥1,100,000	¥700,000	レデンプトール会、コンベンツアル会
⑦学 費	¥0	¥49,127	神学生の教科書代
⑧その他	¥200,000	¥0	担当司祭活動、召命体験
⑨神学生養成基金支出	¥5,000,000	¥5,000,000	
⑩次年度繰越金	¥7,400,009	¥9,879,258	
支出合計	¥20,495,009	¥20,448,209	

2020年度教区会計のご報告

教区民の皆様への教区会計への日々のご協力、ご理解に感謝いたします。今年度もコロナウイールによる影響で、昨年度よりも収入減が目立つ結果となりました。教区費、ミサ献金、祭儀収入、法定献金など。しかしながらカリタス鹿児島献金、神学生養成費に関しては、影響を受けることなくご協力いただいております。

支出においては、研修会、行事等が実施できず反対に支出減へつながらることとなりました。年間の収支だけを比較すると2200万円のマイナスとなり、苦しい状態が続いております。来年度への繰越金が4000万円ほどありますが、皆さまの教区会計へのご理解、ご協力をあらためてお願いしたいと思います。

最後に2020年度会計報告が遅れたことを深くお詫びいたします。

教区会計部 泉 浩二

経常支出

科 目	2020年度予算額	2020年度決算額	備 考
①人件費	¥43,700,000	¥42,245,935	
給 料	35,500,000	33,154,322	司教・司祭（14人）、シスター3人、職員7人
法定福利費	5,500,000	4,384,459	社会保険料
福利厚生費	1,500,000	3,099,499	医療保険、医療費、葬儀費用 丸野神父（家賃）
司祭年金	1,200,000	1,607,655	丸野神父、田原神父
②維持管理費	¥4,400,000	¥3,964,803	
修繕費	2,000,000	1,269,700	施設修繕、パイプオルガン調律・点検
施設保守点検費	1,200,000	1,113,593	ビル管理（保守点検）、エレベーター保守
損害保険料	1,200,000	1,581,510	建物火災・損害（カテドラル・本部など6カ所）
③事務運営費	¥8,740,000	¥6,619,789	
事務費	600,000	655,637	印刷機、印刷用紙、ダスキン取替、給与ソフト
通信費	550,000	504,690	電話料、切手、葉書、発送代
旅費交通・接待費	450,000	370,844	公務出張旅費、来客接待（40,000円）
水道光熱費	3,000,000	2,229,508	電気、ガス、水道（本部、司教館、地区長館など）
支払報酬手数料	1,200,000	867,461	税理士報酬、振込手数料、小切手手数料
租税公課	100,000	113,850	自動車税、法人謄本など
会議費	1,500,000	500,045	各種司祭会議の交通費、教区シノドスなど
図書印刷費	140,000	422,217	新聞代、新日本法規、封筒・領収証印刷
賃借料	1,050,000	947,870	印刷機、コピー機、電話機、LED
自動車諸費	150,000	7,667	ガソリン代、高速料金、車検代
④宗教活動費	¥7,010,000	¥1,628,742	
祭儀費	10,000	10,251	毎日のミサ 他
教育養成費	1,000,000	25,244	青少年信仰養成（巡礼・聖書学校）及び活動援助
教区司祭研修費	3,500,000	1,527,247	黙想会、司祭大会 貴島神父研修費
行事費	2,000,000	0	ザビエル祭、レオ殉教祭、シドッチ祭、叙階式
宣教広報費	100,000	66,000	JR鹿児島中央駅（カテドラル）
その他	400,000	0	布教強化費（100,000円）、宣教司牧活動費

⑤広報部支出	¥1,950,000	¥1,839,601	
⑥補助金支出	¥3,600,000	¥3,157,100	溝辺、指宿、種子島、垂水、屋久島、阿久根
⑦負担金	¥1,050,000	¥830,000	教区分担金88万円、Can献金17万円、他
⑧諸会費	¥200,000	¥8,200	教誨師会、唐湊町内会、全国典礼担当者会
⑨災害見舞金	¥100,000	¥0	
⑩法定献金支出	¥3,180,000	¥2,392,293	
⑪事業支出	¥100,000	¥91,480	ミサワイン仕入、結婚証明
⑫その他支出	¥473,843	¥273,843	慶弔費、他
⑬予備費	¥500,000	¥0	
⑭資金支出調整勘定	¥-300,000	¥0	期末未払金
経常支出合計	¥74,703,843	¥63,051,786	

財務支出

科 目	2020年度予算額	2020年度決算額	備 考
①固定資産取得支出	0	¥0	
建物付属・器具備品	0	0	
②特定預金積立支出	¥14,374,000	¥16,065,092	
カリタス基金	1,000,000	2,688,005	
教区司祭年金積立	6,580,000	6,733,087	田原神父 丸野神父
教区司祭医療積立	144,000	144,000	
その他	6,500,000	6,500,000	建物減価償却、退職金
パイプオルガン	150,000	0	
③その他支出	¥8,700,000	¥8,658,028	
貸付・立替金	0	1,000,000	枕崎教会屋根改修工事
仮払金	200,000	0	
預金支出	8,500,000	7,658,028	預り金収入に対応
④繰入金支出	¥0	¥0	
財務支出合計	¥23,074,000	¥24,723,120	
支出合計	¥97,777,843	¥87,774,906	
次年度繰越金	¥27,770,014	¥43,983,810	
合 計	¥125,547,857	¥131,758,716	

1000回の集いを記念

大熊小教区浦上教会のレジオ

昨年10月14日（木）大熊小教区（主任司祭Ⅱグエン・ホグ・タム神父）の巡回教会浦上教会に大きな喜びが溢れました。浦上教会の「レジオ・マリエ」の集いが設立から1000回の節目を迎えたのです。

実は同教会のレジオ・マリエは2016年3月に帰天されたベトロ美島春雄神父様によって設立され、2000年11月1日から活動を始めました。そしてこの20数年の間、4人の神父様が着任されご指導くださり、そして現在のタム神父様も熱心に育ててくださっています。

ここまで続けてこられたのは、温かく見守り、指導して下さるシスター方、そして賛助会員の皆様のおかげの支えがあったからこそだと思います。

私たちレジオ・マリエの祈りと奉仕は、あまり目立つこともなく、地道な活動で微力な集まりです。どうか私たちのために、



聖書愛読運動『新約聖書通読コース』完走者
碩丈代さん（瀬留小教区）、権頭暁子さん（聖心教会）、浜田スミ子さん（池上利男助祭・大川和美さん、順秀子さん（徳之島地区教会）、永田悦子さん（紫原教会）、田代峻子さん（谷山教会）、上野千穂子さん（ザビエル教会）、

そしてコロナウィルス蔓延の終息のためにもお祈りください。感謝のうちに。
（報告・浦上教会レジオ会員）

川原美枝子さん（川内教会）、桃蘭淳一郎助祭（鴨池教会）、永田京子修道女（純心聖母会鹿児島修道院）、山野扶美子さん（指宿教会）、萩木厚子さん（溝辺教会）、川口茂助祭（加世田教会）、砂森榮子さん（大熊小教区）、満吉敬太さん（谷山教会）
※2月15日現在

+KABAYAN SEKSYON+
Mga Katekista:Mga Laiko ng Dakilang Saksi ng Pananampalataya

Sa muling pagbubukas ng mga klase sa Pilipinas, inilalatag na ang mga paghahanda para sa iba't ibang mga pangangailangan ng mga mag-aaral na magbabalik-eskuwela.
Subalit mayroon isang pangangailangan na karaniwang tila napapabayaang sadyang maliit na paghahanda lamang ang iniuukol para rito: halos walang pondong nakalaan para sa "edukasyon sa pananampalataya" ng mga kabataan ngayon.
Naglaan kaya ng sapat na panustos ang mga diyosesis, parokya at mga paaralan para sa isang matibay na programang pangkateketikal?
Binigyang-pansin ng ikalawang Konsilyo Vaticano: "Karapat-dapat ding papurihan ang hanay ng mga katekistang lalaki at babae...Taglay ang diwa ng mga apostol, puspusan silang kumikilos upang makapagambag ng katangitangi at sadyang mahalagang paraan tungo sa pagpapalaganap ng pananampalataya at ng Simbahan.
Sa ating panahon, kung kalian sadyang kaunti lamang ang mga naordenahan na maaaring mangaral ng Ebanghelyo...ang gampanin ng isang katekista ay sadyang mahalaga" (Ad Gentes 17).
Ilang mga katanungang nangangalampag ang lulutang: Marami bang mga kabataang Katoliko ang lumalayo sa pananampalataya dahil walang katekista na nagtuturo sa kanila?
Bakit sadyang maliit ang pondong inilalaan ng parokya para sa katesismo? Kayong mga laiko, paano kayo konkretong tutugon sa mahigpit na pangangailangang ito?
Ang mga katekista ay isang napakalaking tulong ng simbahan hindi lamang sa pagtuturo kundi man sa paghuhubog sa pagkatao ng isang tao. Sila'y mga kasangkapan ng Diyos para ipaabot sa lahat ang Mabuting Balita ng Panginoong Hesus. Dahil si Hesus din ay naging isang katekista na nagturo habang siya'y nandidito sa ibabaw ng mundo.

Laiko, Simbahan at Misyon(Fr.Dino Orolfo)

YCC 2022 案内

今年度もYCC（ユース・カトリック・キャンプ）がオンラインで開催されることになりました。中学生・高校生の皆さん、たくさんの参加をお待ちしております。

テーマ：「助け合う」（教皇フランシスコ回勅「兄弟の皆さん」から）
日時：3月29日（火）13時～17時30分
会場：教区本部2F会議室
対象：カトリック中学・高校に通う生徒、小教区に所属する中学生・高校生
内容：「兄弟の皆さん」についての講話、分かち合い、みことばの祭儀など
問合／申込：ラ・サール高校 岩崎正幸 まで
TEL : 099 (268) 3121
FAX : 099 (268) 3122
mail : iwazaki@lasalle.ed.jp
※申し込み締め切り：3月11日（金）

徴税人ザアカイについて
の話は以前に書きましたが（2017年10月）、今回は視点を変えて読み解きたいと思っています。
背の低かった徴税人ザアカイは群衆に埋もれていました（ルカ19・2参照）。「それで、イエスを見るために、走って先回りし、いちじく桑の木に登った。そこを通り過ぎようとしておられたからである」と解説がつけられています（19・4）。
ここで「走って」と訳された言葉をヘブライ語に訳し、その使われ方を見ると

アブラハムが三人の訪問者に出会い、サラが男の子を身ごもることを告げられた場面に行き着きます（創世記18・1～15参照）。ここで「アブラハムはすぐに天

《康由神父の聖書教室》

④⑧

見失った羊のたとえから



幕の入り口から走り出（た）の「走り出（た）」に相当します（18・2）。なぜ彼がそのようにしたかと言え、この三人が目の前を通り過ぎてしまわないよう

にすることを（18・3参照）。
旅人が天幕の前に立ち止まることはもてなしを求めることであり、それに応えることは神聖な義務と考え

葉と共にアブラハムのところに留まりました（18・4～5参照）。
この違いこそ福音記者ルカが表現しようとしたことのように思えます。つまり、ルカはイエス様と三人の訪問者との比較を通じて、イエス様の愛とはたとえ罪人であつても、捧げるものが何もなくても自らその者のところに留まってくださるということを示しているのだと考えられます。



四旬節黙想会の案内
＝青年会＝

日時 3月27日（日）午後2時～午後5時半
場所 溝辺マリア山荘
指導 比アンネ神父・霧島神父
対象 35歳くらいまでの青年男女（今春高校を卒業された方もどうぞ！）事前の申し込みは不要です。奮ってご参加ください。
内容 ミサ、説教、個人黙想（希望者は司祭との面談・ゆるしの秘跡も）、聖体賛美式
問合 霧島神父（鴨池教会）
TEL 099（257）8097

【祈祷の使徒会】

祈りの意向
教皇 生命倫理の課題へのキリスト者の対応
日本の教会 召命

2日（水）灰の水曜日（大斎・小斎）
5日（土）田邊徹神父命日（2018年）
6日（日）四旬節第1主日
9日（水）川口茂助祭、石神秀人助祭叙階記念
13日（日）中野アカデミー・教区本部・19時
16日（水）中野アカデミー・教区本部・19時
17日（木）日本の信徒発見の聖母
18日（金）田原尊神父、頭島光神父、坂本進神父叙階記念
19日（土）性虐待被害者のための祈りと償いの日
19日（土）聖ヨセフ
20日（日）サンタマリア神父、析尾泰英神父、タム神父霊名
20日（日）ゼローム神父命日（2003年）
21日（月）牧山田一神父命日（2018年）
23日（水）丸野六雄神父叙階記念
24日（木）正義と平和協議会・教区本部・13時
25日（金）郡山健次郎名譽司教、永山幸弘神父、寝占敦之神父、宋診旭神父、鄭法鍾神父叙階記念
27日（日）レジオマリエ鹿児島コミチウム・谷山教会・14時
28日（月）小限憲士神父、末吉卓也神父叙階記念
29日（火）中野アカデミー・教区本部・19時
29日（火）山口好信神父叙階記念
29日（火）神のお告げ
29日（火）泉浩二神父叙階記念
29日（火）四旬節第4主日
30日（水）ビンセント神父（2021年）、コンタリーニ神父（1998年）命日
30日（水）明松尊吉神父命日（1992年）
30日（水）内野洋平神父叙階記念
30日（水）美島春雄神父命日（2016年）
【司教日程】2～3日常任司教委員会（東京）、9日中野アカデミー、10日大口明光学園、16日中野アカデミー、22日聖マリア学園、23日中野アカデミー、30日中野アカデミー

会と催し 3月

このところ「平等」という言葉がメディアを賑わしています。私たちは自分の頭でしっかり考えないと偏った平等主義的主張に洗脳されてしまうかもしれません。言い換えれば不平等に思えることの意味を問う必要性があるということですね。そこでカトリックの伝統である位階制や司祭と一般信徒との違いについて教会法と第二バチカン公会議公文書に基づいて考えてみたいと思います。

「司祭」

が意味することと教会の伝統

司祭も信徒も信者であることには変わりません。その意味では教皇様も信者です。だからと言って司祭は一般信徒と同じであるとは言えません。プロテスタントには「万人祭司説」という理解があります。これは宗教改革のきっかけとなったルターが提唱した説です。この説に基づけば神様の目から見たらキリスト者のすべては祭司となります（1ペトロ2・9）。カトリックでは「あなたはベトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。」というイエス様の言葉に基づき（マタイ16・18）、ペトロの後継者であるローマ教皇の首位権を認めます。そしてそのローマ教皇の名によって叙階された聖職者を通じて一般の信徒は神様につながると考えられています。これが位階制と呼ばれるものです（図表参照）。

さて、教会法では「キリスト信者の中にある者は、神の制定による叙階の秘跡によって消すことのできない霊印で刻印さ

【位階構造】



※この聖職者のなかにも（上述 CC207.1 参照）、また信徒のなかにも、教会が認可し承認する誓願又は他の聖なる絆をもって福音的勧告の順守によって、それぞれ特別の仕方で神に奉獻され、教会の救いの使命に奉仕するキリスト信者がいる。その身分は、教会の位階構造の一部ではないが、教会の生命と聖性にかかわるものである（CC207.2）。

ところで、司祭はミサを司式している間はキリストの代理者であるが、ミサが終われば一般信徒と同じであるという理解は間違っています。叙階の秘跡を受けた以上、何

れ、聖なる奉仕者に立てられます。」とあります（CC1008）。これを受けて叙階の秘跡を受けた者は「キリスト信者のうちに、法的に聖職者と呼ばれる聖務者」となり（CC207・1）、信徒と区別されることとなります（同条参照）。これは司祭が信徒よりも教会の中に於いて偉いということではありません。「神の民に奉仕するため

時如何なる時でも司祭はキリストの代理者です。このことは第二バチカン公会議の公文書で「司祭は『かしら』であるキリストの代理者として行動できるように、司祭キリストの姿に似たものとなる。」と書いてある通りです（『司祭の役務と生活に関する教令』2）。このことは繰り返し返すように「司祭が信徒より偉い」ということではありません。位階制または位階的權威に基づき、司祭という個人の

使徒継承にその起源を持つもので、頭であり牧者であるキリストの代理者として働く権限と責任を形作る聖なる権能を具備することを意味するのです。カトリック教会はその始まりから共同的なものです。であれば教会とは見えないイエス様に基づき、見える司祭を通じて一致しようとしなければならないのではないのでしょうか。

KJP

（鹿児島正義と平和協議会）

通信 3月号

「世界平和の日」教皇メッセージをお一人でも多くの方々にお知らせしたいの思

(1) 平和の道

残念ながら今日でも、多くの人の実生活、ひいては、今や完全に相互が結びついた人類家族の現実からはほど遠いところにあります。ここで世界平和を築くための三つの道をしめしたいと思います。まずは世代間対話で、これは共通の計画を実現するための基盤です。第二は教育で、これは自由と責任と発展のため

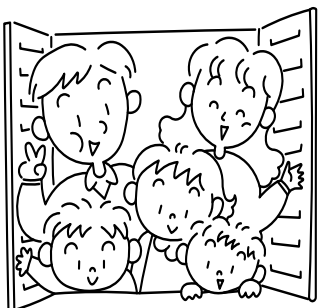


要理

食事の時にちよつとこげたり、形がくずれたり、そして量が少なかつた料理は誰が食べますか？ おそらくその

友のために自分の命を捨てること

つたのです。若くはないお母さんでした。息子に「腎臓があげられて一番うれい」という思いから決断をしたようです。何だかイエス様の「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。」という言葉が思い出されますね（ヨハネ15・13）。



料理を作ったお父さんやお母さんだと思っています。もしみなさんの前にそのようなものを置いてしまつたらすぐに「こつちの方が良いから」と言つて料理が盛つてあるお皿を取り替えてくれると思います。それは自分が作つたからという

せん。より良いものをあげようとする愛の現れです。普段からこのようなことができるからご両親は何があつたときに自分の命を犠牲にしてもみなさんを助けることができるのです。

こんなお話を聞いたことがあります。糖尿病という病気が悪化したため腎臓が働かなくなり、移植手術をする以外には生きることができないとお医者さんに告げられた人がいました。その時に腎臓を提供してくれたのは63歳になるお母さんだ

の条件です。最後は就労で、これは人間の尊厳を完全に実現するものです。これらは、「社会契約を可能にする」ための必須の三要素であり、これを欠いた平和事業は、いずれも実体のないものです。

(2) 平和を築くための世代間対話

あまりに多くの問題を引き起こしたパンデミックに恐ろしいほどに苦しめられている世界で「私的な世界に逃げ込み現実を避けようとする者がいれば、破壊的な暴力をもつて現実に対峙する者もいま

す。ですが、利己的な無関心と暴力的な抗議の間には、いつも可能な選択肢があります。対話です。世代間の対話です。対話とは、互いに耳を傾け、向き合い、納得し合い、共に歩むことです。そのすべてを世代間で促進していくことが、永続的で共有できる平和の種を育てるために、紛争や排斥という硬く不毛な土壌を耕すことになるのです。

(3) 平和の原動力としての教育と養成

わたしは教育への投資には、ケアの文化を促進する確固たる取り組みが付随していることを期待します。この文化は、社会の分断や制度の機能不全に直面した際、壁を取

り払い橋をかけるための共通語と成り得るものです。若い世代の教育と養成に投資することは、彼らが個別の準備を経て、就労の場で、稼ぎを得ることのできる適切な職に就けるようにする、主要な道です。

(4) 雇用の促進と保証が平和を築く

就労とは、平和を構築し維持するために不可欠の要素です。また自己とその才能の表現ですが、同時に社会参画であり、努力であり、他者との協働です。常に誰かと共に、あるいは誰かのために働くからです。この極めて社会的な視点から見ると就労によって、より住みやすく、より素晴らしい世界のための貢献

を修得するのです。就労はそれぞれの社会において、正義と連帯を築く基礎となるものです。働くことは一つの必然性であり、地上における生の意味の一部であり、成長や人間の発達や人格的完成への小路です。勇気と創造性を持つて、三つの道を共に歩み続けましょう。世代間対話、教育、就労この三つです。

※原文をお読みください。ば、より理解が深まると思われます。社会をよりよくする努力を続けて神の正義を共に学び行うことが世界平和に結び付くことに気付かされました。今年の努力目標にしたいと思います。（加世田教会・川口茂）